

令和5年度

上山市青少年育成市民会議 所属団体活動紹介



令和5年度青少年育成市民会議表彰式より

主催 上山市青少年育成市民会議

上山市青少年育成市民会議

【活動目的】

豊かな魅力ある上山市を築き、次代の担い手となる青少年を強く、正しく、たくましく、心豊かに育成するため、青少年育成市民会議の運動の輪を広げる。

【活動】

- 1 市民意識の高揚と地域における育成活動
 - (1) 上山青少年育成市民会議表彰式の開催
 - (2) 山形県民運動の実施
 - ア “いじめ・非行をなくそう” 山形県民運動の推進
 - イ 「大人が変われば子どもも変わる」 県民運動
- 2 青少年の社会参加と健全な団体活動の育成
 - (1) 奉仕活動の促進、ボランティア団体の育成
 - (2) 少年少女によるスポーツ大会への支援
- 3 健全な地域環境づくりと非行防止活動
 - (1) 山形県少年の主張大会上山地区大会への後援
- 4 交通事故防止のための諸活動
- 5 青少年を取り巻く環境浄化活動
 - (1) 青少年を有害環境から守るための定期巡回
 - (2) 特別街頭指導活動（長期休み・有害図書等一斉巡回調査）
 - (3) 村山地区広域合同街頭巡回指導
- 6 家庭教育支援事業の実施
 - (1) 学社連携・融合活動の推進
 - (2) 家庭教育活動の推進
- 7 会議・大会等への参加
 - (1) 村山地区青少年育成連絡協議会総会
 - (2) 山形県青少年育成県民会議総会
 - (3) 山形県青少年健全育成県民大会
- 8 国民・県民運動の普及啓発
 - (1) 薬物乱用防止広報強化期間 6月～7月
 - (2) 青少年の非行・被害防止全国強調月間 7月
 - (3) “明るいやまがた” 夏の安全県民運動 7月～8月
 - (4) 家庭の日 山形県：毎月第3日曜日、家族の日 国：11月の第3日曜日
 - (5) 秋のこどもまんなか月間 11月

令和5年度 上山市青少年育成市民会議表彰式

◇日時：令和5年10月28日 午前10時00分より

◇場所：三友エンジニア体育文化センター エコーホール

(第59回上山市文化芸術功労者を称える会と合同開催)

【上山市青少年育成市民会議表彰者】

青少年育成功労者

◇ 須 藤 正 氏

◎功 績

平成16年から今日まで、学校の休日を除く毎日、午前7時30分から午前8時までの通学時間帯に月岡ホテル前の通学路で立哨活動をされています。長年にわたる活動に対し、平成28年には上山小学校後援会から感謝状が授与されました。

また、継続的な通学路での声掛け活動は、児童生徒を交通事故から守るのみならず、あいさつの大切さを伝えるとともに、子どもたちと地域のつながりを深める心温まる行動になっており、青少年の健全育成に多大に寄与されています。

◇ 石 山 忠 志 氏

◎功 績

平成31年に「健成館空手道場」の代表に就任され、同年市スポーツ少年団に登録以来今日まで、南部地区公民館において週2回自らの競技経験を活かした指導により、子どもたちの心身の健全育成に寄与されています。

また、上山市青少年育成推進員・上山市青少年指導員として、市の青少年育成事業や公民館事業の少年教室に積極的に参画して幅広い年代との交流を行うなど、空手道の指導にとどまらず、地域活動に常に関心を持って取り組まれ、多岐にわたり青少年の健全育成に貢献されています。

善行青少年

◇ 粟 野 瑛 斗 さん、神 田 達 希 さん

◎功 績

令和5年4月30日、下校途中に在籍校付近の路上でうずくまっていた高齢女性が左腕の強い痛みと歩くことができない旨を強く訴えたため、二人で介助を決断。受診を勧め医療機関へ同行するとともに、女性の家族に連絡を取って無事に自宅へ送り届けるなど迅速で的確な行動で人命救助に貢献されました。

【“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動「いじめ防止」標語 上山市優秀標語】

◇ だいじょうぶ そのひとことで えがおになれる

南小学校 2年 井上 ゆず さん

◇ 気づこうよ うつむくあの子の SOS

中川小学校 5年 中村 心咲 さん

◇ 「嫌い」より あの子の魅力探そうよ 見逃していた「好き」の機会を

北中学校 3年 田代 詩乃 さん

【令和5年10月28日開催 上山市青少年育成市民会議表彰式の様子】



令和5年度 上山市青少年育成市民会議委員及び所属団体紹介

上山市青少年育成市民会議委員名簿

	役 職	団 体 名
1	会 長	上山市公民館長連絡協議会
2	副会長	上山市小・中学校長会
3	〃	上山市子ども会育成連絡協議会
4	常任委員	上山市青少年育成推進員連絡協議会
5	〃	上山市青少年指導員連絡会
6	〃	上山市PTA連合協議会
7	〃	上山市老人クラブ連合会
8	〃	上山市民生児童委員連合協議会
9	〃	上山市更生保護女性会
10	〃	上山地区保護司会
11	〃	山形人権擁護委員協議会上山市部会
12	〃	上山市防犯協会
13	〃	上山市地区会長会（兼本庁地区会長会・北部地区公民館運営協議会）
14	監 事	上山地区少年補導連絡会
15	〃	上山市スポーツ協会
16	委 員	上山市母子寡婦福祉会
17	〃	上山市事業所防犯連絡会
18	〃	上山市交通安全推進協議会
19	〃	山形県立上山明新館高等学校
20	〃	社団法人上山青年会議所
21	〃	上山市商工会
22	〃	上山警察署
23	〃	上山市文化団体協議会
24	〃	本庁地区会長会（兼中部地区公民館運営協議会）
25	〃	本庁地区会長会（兼南部地区公民館運営協議会）
26	〃	西郷地区会長会
27	〃	本庄地区会長会
28	〃	東地区会長会
29	〃	宮生地区会長会
30	〃	中川地区会長会
31	〃	中山地区会長会
32	〃	山元地区会長会

（原稿は令和5年10月時点）

上山市公民館長連絡協議会

市内には 10 の地区公民館がありますが、それぞれ地区の特徴を活かした公民館事業を実施しております。

特に事業面では、各公民館が子どもから高齢者を対象としての一般教養や健康づくり、体育レクリエーション、地域の祭りや地域の行事等、多岐に渡って実施しております。

こうした事業や交流を通して、地域全体での青少年の健全育成を進めるとともに地域の活性化や絆づくり、組織づくりなどにつながるよう引き続き活動してまいります。



【3Dプリンタ体験学習（南部）】

上山市小・中学校長会



【学区連携事業における話し合い】

令和5年度、上山市小・中学校長会は小学校4校、中学校3校の計7名の組織で活動しております。本会の目的は、小・中学校同士の連携を図り、信頼される学校づくりを推進し、本市教育の振興を図ることです。

本市学校教育指導の方針に掲げられている『「まなび」「ふるさと」「いきがい」をもった上山の子ども』の育成をめざし、会員の研修、学校教育に関する調査・研究、教育行政への対策

活動、教育関係団体との連携等を行っています。

具体的には、年6回の市小中校長会議および研修会の開催、中学校区における小中連携事業、特別支援学級交流会「おひさまの会」、市PTA連合会との連携によるウィズメディアの取り組み等を行っています。

少人数であることの強みを生かしながら、市内小・中学校の充実・発展に力を注いでいきます。

上山市子ども会育成連絡協議会

上山市子ども会育成連絡協議会は、上山市内の子ども会育成会相互の密接な連携を図り、地区住民の理解と協力を高めて、子ども会育成の効果を上げることを主たる目的とする団体です。

各地区子ども育成会選出の委員及び市青少年育成推進員を役員として、子ども会育成に関する事業の実施、情報交換、諸問題解決のための協議などを行っております。

主となる子ども会事業の上山市少年少女ミニバスケットボール大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度より中止となっておりましたが、今年度は4年振りの大会開催に向けて準備を進めているところです。

また、子ども会活動の実施においてKYT（危険予知トレーニング）の啓発や全国子ども会安全共済会の加入推進など、子ども会活動のサポートも行っております。



【市少年少女ミニバスケットボール大会
第1回実行委員会】

上山市青少年育成推進員連絡協議会



【令和5年度 情報交換会】

青少年育成推進員連絡協議会は、市内青少年の健全育成を図ることを目的に、上山市青少年育成市民会議を始めとした各団体と連携しながら活動しています。

主な活動として、上山市子ども会育成連絡協議会と連携して行われるスポーツ活動などを通じた青少年育成活動の推進に力を入れて取り組んでいます。

そのほか、青少年の非行防止や環境浄化推進を目的に、上山市青少年指導員連絡会と連

携し、市内の定期的な巡回活動や、コンビニ・スーパー等で有害図書の陳列状況調査等を行っています。調査後には、青少年の動向に詳しい方々から意見を伺いながら、青少年を取り巻く環境の変化やさらに注意していくべきことなど、これからの活動に繋げるための情報を共有しています。

今後もこのような活動を通して市内青少年の健全育成に尽力していきたいと思っております。

上山市青少年指導員連絡会

上山市青少年指導員連絡会は、青少年の非行化防止対策について情報を交換し、関係機関・団体と相互に連絡を密にし、更に資質の向上のために自主的に研修を行い、指導活動の推進に寄与し、併せて会員相互間の親睦を図ることを目的としています。

指導の対象となる青少年の範囲は、市内に住むおおむね 20 歳未満の学生、生徒及び勤労青少年としています。

活動の内容は、各地域より選任された 12 名の会員が学区ごとに 6 班に分かれ、地域の巡回指導を班ごとに実施しています。

特別街頭指導活動として石崎神社祭典、スマイルプロジェクト☆かみのやまや秋祭りの時期と、学校の長期休み期間中は特に巡回を強化しています。さらに有害図書等の一斉巡回調査として、市内一円のコンビニ等を巡回し、成人向け図書類を販売する場合、山形県青少年健全育成条例の規定に違反していないか見回る活動も行っております。



【石崎神社祭礼時巡回活動】

上山市 P T A 連合協議会



【学校行事への協力：北中 P T A ・
校内駅伝クラスマッチ】

上山市 P T A 連合協議会は、上山市内の小中学校 7 校（上山小、南小、宮川小、中川小、北中、南中、宮川中）の P T A による連合組織で、上山市内の保護者と教職員が互いに協力し合い、地域の皆様と連携しながら、いろいろな活動を通し、子どもたちの健全育成をサポートしています。

令和 5 年度は、5 月の新型コロナウイルス 5 類移行により、各小中学校の行事や P T A 活動において制限が一部緩和されたことにより活動が活発化していくことが期待されます。

写真は、北中 P T A による校内駅伝クラスマッチへの協力の様子です。

市 P T A 連合協議会としても、市内の小中学生の保護者が抱える悩みや困りごとについてのアンケート調査を実施し、その結果から見えてきた共通のテーマをもとに合同研修会を開催していく予定です。

上山市老人クラブ連合会

上山市老人クラブ連合会は、令和6年10月に結成61周年を迎える歴史ある団体で、現在、所属クラブ数13・会員数440名が加入しています。

人口減少と少子高齢化が進行する中、高齢者がお互いに健康づくりや生きがい活動に取り組むと共に、地域に精通した高齢者による自主的な地域の見守り・支え合い活動にも積極的に取り組んできました。

ここ3年間は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、連合会自体のスポーツ・文化活動の多くを中止せざるを得ませんでした。令和5年度は、年度当初に計画した活動をほぼ実行することができました。

今後は地域社会を支える公民館活動とも積極的に連携し、健康と生きがいづくり・地域支え合い活動を進めていきます。



【山形県老人福祉大会】

上山市民生児童委員連合協議会



【民生委員・児童委員全員対象研修会】

上山市民生児童委員連合協議会は、南部地区民生児童委員協議会（南中学区）、北部地区民生児童委員協議会（北中学区、山元地区）、宮川地区民生児童委員協議会（宮川中学区）の連合体で組織されています。

構成員である民生委員・児童委員は、当該地区の地区会長の推薦を得、厚生労働大臣から委嘱を受けて活動しており、定数が92名です。そのうち、児童や子育ての支援にあたる主任児童委員が6名となっています。

人口減少と少子高齢化がすすみ、家庭をめぐる課題が複雑、多様化する中、虐待や貧困、いじめ、不登校などを抱える児童の健全育成については、委員としての直接的な支援活動に限界がありますが、今後とも事案の発見と関係機関への連絡、通報に努めてまいります。

上山市更生保護女性会

令和5年度は、コロナウイルスが5類に移行されたことで視察研修を再開しました。主な視察研修では8年振りの福島刑務所・女子刑務所訪問や山形市開催ブロック大会、いこいの里訪問、和光会訪問などです。

そのほか通常の活動として、市内女性団体がボランティアでしている旧曾我部家(紫苑庭)での観光客へのお茶接待や当会で2年目

を迎える放課後子ども教室(かみのやま寺子屋・けやきっず)への地域連携活動などがあります。コロナ禍で中止していた念願のお楽しみ調理実習は、中部地区公民館調理室を借り2年生～6年生男女15人でどんどん焼きとお好み焼きを作りました。試食会では子ども全員の顔がほころび、おみやげのお好み焼きで大変盛り上がりしました。次回は、郷土食を思案中です。

これからも、保護司や行政と連携して、「社会を明るくする運動」の啓発運動をはじめ犯罪・非行をなくして立ち直ることを支える活動を続けてまいります。



【かみのやま寺子屋調理実習】

上山地区保護司会



【“社会を明るくする運動” 街頭活動】

保護司は、具体的に「保護観察」「生活環境調整」「犯罪予防活動」の三つの活動を行っております。

「犯罪予防活動」の中で、毎年7月は「社会を明るくする運動」強調月間です。その運動として三つの活動を行っております。

①市内の小中学校の生徒に啓発用のクリアファイルの配布。7月1日の朝はかみのやま温泉駅前、夕方には複数の大型スーパー店頭にて啓発グッズの除菌ウェットティッシュを

配布する活動を行っております。

②作文のコンテストを行っております。小中学校の生徒に日常生活や学校生活の中で感じたことを作文に書いてもらい、理解を深めてもらうことを目的として募集しております。

③「山形県少年の主張大会上山地区大会」の後援協力として奨励賞の盾の授与と出場者全員に参加賞を授与しております。

このような啓発活動を通して犯罪をした者の更生、犯罪の予防に努めております。

山形人権擁護委員協議会上山市部会

山形人権擁護委員協議会上山市部会は、8名の委員で構成され、人権に対する意識の啓発、幸福な市民生活をおくれるよう、主に二つの活動を行っています。

一つは相談活動です。法務局で実施される「人権なんでも相談」や市内で行われる「特設相談」など、電話や面談で困りごとや悩みごと、辛いことなどの相談に応じています。特に、児童生徒には「子供の人権SOSミニレター」という手紙に



【令和5年9月29日実施人権教室】

よる相談、面談相談にも対応しており、秘密は厳重に守られます。緊急かつ重大な事案には学校や関係機関と連携するなど、適切な解決が図られるよう努めています。

もう一つは、啓発活動です。小中学校における「人権教室」の実施や、「人権の花運動」の取り組み、また、小学校5・6年生による「人権書道」とその書道展の実施、中学生の「人権作文」の取り組みなどを通し、命の大切さ、お互いの権利や自由を護ることの大切さ・人を思いやることの大切さなどの人権意識を育む活動を行っています。

上山市防犯協会



【少年の主張大会】

上山市防犯協会は、犯罪のない健康で明るく住みよい地域社会の実現を目的に、市民生活の安全・安心と福祉の向上を図り、関係団体と連携して、各季の防犯運動を推進し、防犯意識の浸透を図っております。

特に「少年の主張大会」や「防犯標語・ポスターコンクール」の開催を通し、少年の非行防止や健全育成を推進していますが、今年度は8月31日に「少年の主張大会」を開催、中学生

6名の方から発表していただきました。「防犯標語・ポスターコンクール」授賞式は10月11日、全国地域安全運動上山市出発式において行われ、15名の小・中・高校生の方が受賞され、うち4名の方は県コンクールでも入賞されました。

7月25日に開催した「安全安心なまちづくり上山市民大会」では、青色防犯パトロール隊によるパレード、ショッピングセンターでの啓発活動などに取り組みました。

本庁地区会長会（上山市北部地区公民館運営協議会）

北部地区では、地域の担い手となる子どもたちを対象とした事業に力を入れています。

青少年育成事業「地区対抗モルック大会」は、63名の親子が参加し優勝を目指し戦いました。初開催という事もあり、事前に3度の練習会を催し延べ123名の親子にご参加を頂きました。同じ地区の仲間と地区優勝を目指し親子で一緒に活動できる場を提供できたことは、体力向上や集うことの楽しさを分かち合うこと以上に、仲間との絆を深め、親睦を図る意味において、とても有意義で価値のある事業でした。

子どもたちは地域の「宝」です。地域に活力を与えてくれます。子どもたちの元気な声と笑顔を絶やさぬよう、大切に守り育てていきたいと思えます。これからも地域全体で青少年の健全な育成に取り組んでまいります。



【令和5年度 青少年育成事業
地区対抗モルック大会（親子大会）】

上山地区少年補導連絡会



【少年の非行防止広報活動】

上山地区少年補導連絡会は、山形県警察本部長から少年補導員の委嘱を受けた19名が活動しており、山形県全体では約500名が委嘱を受けています。

上山市における少年の非行及び犯罪被害防止を図るため、夏休みや冬休みにあわせて街頭補導活動を実施するほか、駅や各学校において、自転車盗難やインターネットトラブルなどの犯罪被害を防止するための広報活動等を行っています。

活動を行うときには、問題行動がなくても、遊んでいる子どもたちに声を掛け、地域には、子どもたちを守る活動をしている大人がいるのだということを伝えています。また、中学生・高校生との対話会の開催や、子どもたちの体験活動の支援等を行うことで、子どもたちの健やかな心と体を育む活動を推進しています。

上山市スポーツ協会

上山市スポーツ協会は、22 加盟団体と 5 つの体育関連団体を擁し、市総合体育大会や研修会の開催、県・全国大会等で優秀な成績を収めた選手やスポーツの振興とその発展向上に寄与された方の功績を称える表彰、国際・全国大会出場者に対する激励金の交付などを行っているほか、広報紙「飛躍」を年 2 回発行し、スポーツの振興と理解に努めています。

また、平成 9 年より市内体育施設及び周辺道路の環境整備を行う奉仕活動を実施しています。今年で 26 回目となる活動は参加人数を抑えて、体育文化センター周辺の環境整備を実施しました。例年、各競技団体やスポーツ少年団、他関係団体から 500 人ほどの参加を得て行うこの事業は、青少年の健全育成に繋がる取り組みとして今後も実施していきたいと思っています。



【奉仕活動】

上山市母子寡婦福祉会



【クリスマスケーキ作り】

年間行事の紹介をします。

コロナ禍以前は、5 月最終金曜日に市総会を開催していましたが、今年も総会資料郵送・同意書での了承をいただく事で終了しました。

10 月は最上方面へ。マッシュルームスタンドでそれぞれ食べたいピザを頼んでシェアして楽しんできました。戸沢村の道の駅では散策、大石田町の千本だんごでは、長蛇の列に圧倒されながらもお土産を購入することができました。

12 月、次年度の行事の話し合い後、昨年につきクリスマスケーキ材料を配り自宅で楽しんでもらえるような形になりました。

2 月には、話し合いの場を持った後、昨年同様ボウリングではなく、お家時間を楽しめるように山交ビル地下みちのく亭さんのそば・中華のセットを会員のみなさんへお渡ししました。

上山市事業所防犯連絡会

上山市事業所防犯連絡会は、上山警察署や防犯関係団体等と協力して、防犯意識の高揚を図り、事務所や地域における犯罪を未然に防止して明るい地域社会づくりに寄与することを目的として活動を推進しています。

当会では、上山市の子どもたち、特に自転車利用の多い高校生を自転車盗難被害から守る活動を推進しており、犯罪を誘発する環境の浄化に資するため、毎年3月、当会会員が各中学校を訪問して、高校生活で役立ててもらおうと、中学校3年生全員に、自転車ワイヤー錠を贈っています。

自転車盗難被害を防止するためには、「いつでも、どこでも錠をかける」という心がけや習慣が大切です。中学生全員にワイヤー錠を贈り、全員に呼び掛けることで、自分の身は自分で守るという、一人一人の防犯意識の高揚を図っています。



【自転車ワイヤー錠】

上山市交通安全推進協議会



【イエローフラッグ作戦】

上山市交通安全推進協議会は交通安全確保と交通事故防止を目的とし、関係団体と連携して各季の交通安全運動を推進し、交通安全思想の浸透と交通道德の高揚を図っております。

特に地域や組織の実情に即した交通安全教室や研修会に取り組んでおり、今年度は幼保園や学校を中心に4月から9月の間に延べ51回の交通安全教室等を開催し、交通安全教育の普及に努めました。また、各季において事故多発地やショッピングセンターでの啓発活動を行い、交通安全の呼びかけを行いました。

7月25日に開催した「安全安心なまちづくり上山市民大会」では、地域において永年交通安全教育に尽力された3名の個人と3団体の表彰や、沿道で交通安全のぼり旗を掲示し、運転者へ交通安全を呼びかける「イエローフラッグ作戦」などに取り組みました。

山形県立上山明新館高等学校



【全校一斉ボランティア】

本校は市民の皆様に支えられながら、開校 30 年目を迎えました。今年度も「かかしクリーンアップ協議会」主催の JR かみのやま温泉駅前でのあいさつ運動に本校職員も定期的に参加し、明るく爽やかにあいさつを交わす運動を展開しています。

今年度は、創立 30 周年記念事業の一つとして全校一斉ボランティアを計画し、部活動単位で 45 班に分かれ、各部活動の持ち味を活かして月岡公園

や福祉施設などでゴミ拾いや清掃作業などを行いました。

そして、昨年度まで一緒に活動できなかった市内中学校生徒会と上山高等養護学校生徒会の皆さんをお招きし、青少年育成団体・上山警察署員の方々を交えて、昨今の様々な問題について意見交換を行う「ふれあいトークかみのやま」を開催予定です。

また、生徒会執行部が中心になって 40 周年に向けた学校スローガン「未来を拓く 若人われら 個性輝く 三つの力 ～普通科・食料生産科・情報経営科～」を策定しました。これからも、地域との連携を深め、成長し続ける地域唯一の高校でありたいと思います。

公益社団法人上山青年会議所

上山青年会議所は、上山市及びその周辺に住所または勤務先を有する 20 才から 40 才までの青年により運営している組織です。青年の英知と勇気と情熱を結集し、修練・奉仕・友情の三信条のもと地域社会と国家の健全な発展を目指し、明るい豊かな社会の実現を目的として活動しています。

本年は、上山市の夏の風物詩として認知度を高めてきた『スマイルプロジェクト☆（きらり）かみのやま』を企画運営し、日中は青少年を対象としたイベント等を催し、夜は市内中高生とともに構成した花火を打ち上げ、地域活性化に役立たせ上山全体に笑顔の輪を創り出す事業を展開しています。

また、秋には市内小学生を対象に『上山こどもスポーツ塾』を開催し、スポーツと食を通じて青少年の健全育成に取り組んでいます。

青少年たちが生まれ育った上山に誇りを持ち、この地域の次世代を担う人材として成長してもらうために、様々な形で青少年の健全育成を推進して参ります。



【スマイルプロジェクト☆かみのやま】

上山市商工会



【令和５年度 上山市産業まつり】

上山市商工会は、上山市域を区域として商工会法に基づき設立された法人で、商工業の発展と地域振興を推進する「地域総合経済団体」です。

会員は、地区内の商工業者等で、今年の４月時点で約 700 事業所が加入し、毎年５月の総代会で決定した計画・予算に基づいて事業を推進しています。

事業は主に、会員を対象とした経営支援・相談活動等を行う経営改善普及事業と産業まつり等の地域振興イベントを行う総合振興事業になります。

今年度はコロナウイルス感染症の５類移行により、人の動きやイベントも戻りつつあり、商店会が主催する「商業祭」も多くの人で賑わいをもたらしました。また「上山市産業まつり」については、昨年度と同様に物販を中心として開催し、多くの来場者で賑わいました。

直接、青少年健全育成の事業を行うということではありませんが、今後も関係機関・団体と協力しながら商工会事業を推進していきます。

上山警察署

上山警察署は、少年の非行防止、犯罪被害防止、交通事故防止等に取り組んでいます。関係機関団体と連携した活動として、万引き等防止のための街頭補導活動、自転車盗難被害防止のための鍵掛け広報活動、登下校の安全を守る青パト活動を実施しており、児童やＰＴＡ等を対象とした各種防犯講話も行っています。

犯罪に遭わないようにするためには、在宅時でも施錠する「常時施錠」や固定電話を留守番電話設定にする「常時留守番電話設定」を徹底するとともに、警察からの情報（不審者情報や交通安全情報等）がスマートフォンや携帯電話にメールで配信される「やまがた 110 ネットワーク」等を活用して、防犯意識を高めることが大切です。また、散歩や買い物をしながら子どもたちを見守る「ながら見守り」などの地域全体の防犯力を高めるための持続可能な活動も推進しております。

今後も、関係団体と連携しながら上山市の安全安心を守る活動を実施していきます。



【自転車盗難被害防止活動】

上山市文化団体協議会

上山市文化団体協議会は、昭和38年に発足し、現在は上山市を中心に文化活動を行う23団体が加盟しています。発足以前から開催していた「上山市総合文化祭」は令和5年度に第67回を迎え、10月28日・29日の両日開催されました。計7団体の展示・特別出演2団体を含めた7団体による舞台発表を行い、たくさんの市民が来場されました。宮川中学校総合部文化コースの皆さんの生け花の展示や、上山明新館高等学校邦楽部の皆さんの箏の発表など、幅広い年代の参加を今後も継続していきたいと考えています。同日開催された「上山文化芸術功労者を称える会」では、2名の方が顕彰を受けられました。

加えて、様々な文化事業への後援・協力を行うほか、年1回広報紙「文化団体協議会だより」を発行するなど、上山市の文化の振興に努めています。



【上山華道会華道展 宮川中学校総合文化部展示】

本庁地区会長会（上山市中部地区公民館運営協議会）



【キックベースボール講習会】

中部地区では、青少年育成活動として世代間交流に力を入れています。

「地域の宝さがしウォークラリー」は、中部地区地域づくり委員会のメイン事業で、今年度で11回目を迎え、毎年10月に実施しています。未就学児から高齢者まで老若男女の参加者が、地域の特色（宝）の再発見を目的に、クイズに挑みながら、地域にある宝を探します。地域の多くの方々が出会い、楽しみながら、地域の宝を再発見

する機会となっています。

また、青少年育成事業の一環として、中部地区管内の子ども会会長の皆さんからご協力を得て、キックベースボール講習会を令和3年度からスタートしました。今年は3度目の開催となり、のびのびとボールを蹴り、楽しんでもらいました。今後も継続事業として取り組んでいきたいと思ひます。

本庁地区会長会（上山市南部地区公民館運営協議会）

青少年育成活動への取り組みの一つとして、少年教室「のびっ子クラブ」では、年3回～5回の体験を中心とした事業を開催しております。親子体験学習「段ボールでオーブンを作ってピザを焼こう」、3Dプリンタ体験教室、テラリウム教室など知的好奇心や創作意欲を高める場面づくりに努めております。

二つ目は、世代交流事業「上山ふるさとふれあいフェスティバル」です。南小学校3年生と地区内の高齢者がお手玉やこま等の昔遊びを通して、交流と伝統を学ぶ機会を設けています。

三つ目は、南部地区相互の融和と地区民の親睦を深める目的の地区会長会が主催する南部地区レクリエーション～わきあいあい～を4年ぶりに開催しました。当日の運営スタッフとして南中学校生徒からの協力と、未就学児から高齢者まで幅広い世代から参加いただき、交流を深めながら青少年の健全な成長を見守っています。



【段ボールでオーブンを作ってピザを焼こう】

西郷地区会長会（上山市西郷地区公民館運営協議会）



【令和5年度 あいさつ運動】

西郷地区会長会は、地区内の連携調整や行政へ提言・要望を行うとともに、地域の融和と福祉の向上を推進しております。また、地区公民館や各種団体と協力しながら地区民主体の地域づくりに努めております。

特に未来を担う子ども達の笑顔を絶やさないよう大切に育てていきたいと思えます。子ども達が地域に愛着をもって成長するよう健全育成を心がけております。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた「少年少女交流会」を4年ぶりに開催しました。昨年より実施している「あいさつ運動」も各地区のスクールバス乗降場所にて、地区会長を中心に地区役員の協力で継続、地区民の方々から見守り等のご支援を頂きながら、地域の子どもの安心安全に繋がる活動を実施しております。

本庄地区会長会（上山市本庄地区公民館運営協議会）

本庄地区公民館では小学生総合学習として本庄地区内の史跡や地元特産物の理解を深める学びの場を「わんぱく広場」として開催しております。

毎年開催される宮川小学校6年生の総合学習では、地区の史跡で羽州街道の難所のひとつ金山峠を踏破します。参勤交代の当時の面影を今に伝える貴重な史跡の数々に児童の感慨深い表情がうかがえます。約2kmの峠道で江戸時代への時間旅行を体感しました。



【金山峠越え】

また、上山市特産の紅干し柿はここ本庄地区の気候風土から生まれます。わんぱく広場では親子行事として、地区の生産者から干し柿の製造工程を指導していただきました。実際に干し柿づくりを体験し、先人の知恵や美味しさの秘訣と熟練した加工技術を楽しみながら学んでおります。

東地区会長会（上山市東地区公民館運営協議会）



【そばの脱穀作業】

東地区では、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりの取り組みとして、地域との絆を深める事業を実施しています。

小学生は高齢者と一緒に「そば打ち交流会」や「団子差し交流会」を実施しており、昨年度からそばの刈り取りや脱穀の作業にも取り組んでいます。

また中学生は地区の美化活動として県道沿いに水仙の植栽事業を地域の方々と一緒に取り組んでいます。

このように地区の子どもたちが地域の事業に参加することで、普段接することのない地域住民との接点を生み出すことができ、地域への愛着や関心を深めるきっかけづくりになることを望んでいます。そして地域の「つながり」「支え合い」の大切さを実感できる機会として今後も継続して行きたいと考えています。

宮生地区会長会（宮生地域づくり協議会）

当地区では、宮生地区子ども会育成連絡協議会などの団体・組織が青少年健全育成の推進を目的として、積極的・精力的な活動を行い様々な事業を実施しています。当会では、そのような団体に対し支援や助成金等の交付をしています。

長期間のコロナ禍の中、事業の中止や縮小が相次ぎ、子ども達に経験や体験の場を提供することができませんでした。

しかし、規制が緩和され、徐々に環境を整えながら様々な事業を展開できるよう取り組んでいければと考えております。

今後も地域の団体・組織と手を取り合い、地域の宝である子ども達の成長を願い活動してまいります。



【ホタル観賞会】

中川地区会長会（上山市中川地区公民館運営協議会）



【昔遊び体験】

中川地区会長会は、14地区の地区会長の集合体で、中川地区公民館運営協議会と同じ構成メンバーです。会長会独自としては、クアの道高野の整備や、公民館の大掃除などのボランティア活動を行っています。

「子どもは地域の宝」との考えから、公民館と連携しての活動として中川小学校の故郷学習を通して、地域の文化や伝統を継承しながら、青少年の健全育成に取り組んでいます。内容としては、1年生は団子木飾り作り、2年生は昔遊び体験、3年生はクアオルト体験と茸の植菌体験で、いずれも地区内の高齢者や、地域づくり推進員、青少年育成推進員、民生児童委員の方などが指導していただきます。今年度は、初めて2年生を対象にした昔遊び体験を実施しました。

さらに、子ども会育成会連絡協議会との共催として放課後子ども教室事業で、少年少女球技大会やわんぱく広場での12月のしめ飾り作り・1月の雪と遊ぶ会などを通して、青少年の健全育成に寄与できればと考えます。

中山地区会長会（上山市中山地区公民館運営協議会）

当地区の青少年育成の取り組みは、中山子供育成会の活動を中心に、公民館運営協議会・地区会・小中学校等と連携し活動を実施しております。

中山子供育成会は昭和 40 年後半より活動して参りました。当時は 150 名ほどの児童数でしたが、昭和 50 年代には児童数が二桁台に入り、その後急激に減少し、平成 22 年にはついに一桁を数えるに至りました。



【花いっぱい運動・花苗植栽】

現在の児童数は 13 名ほどになっています。少人数ではありますが、「わんぱく広場事業」の一つとして、公民館・郵便局・各地区ゴミ集積所等への花の苗を植栽し、花を咲かせる花いっぱい運動や、体験学習のもち米苗の田植えを行い、秋に収穫したもち米を使用し餅つきをしておいしくいただく「収穫感謝祭」、年末の「ミニ門松づくり」や小正月の伝統行事「だんごさしの集い」等、活発な活動を行ってまいりました。

やがて大きく羽ばたいてゆく子どもたちが、人生の日々折々に古里であるこの中山を忘れずに愛し続けてもらえるようお願いながら、今後も活動を行って参ります。

山元地区会長会（上山市山元地区公民館運営協議会）



【バルーンアート教室】

当地区は他地区に比べ少子高齢化が急速に進んでいるのが現状です。現在の子どもの数は中学生が 2 名、小学生が 8 名、園児が 1 名となっております。小学校は平成 19 年に、中学校は平成 21 年にそれぞれ閉校となりました。現在は山形市の本沢小学校、第九中学校にお世話になっております。小学校の閉校が決まった頃から子どものいる家族や適齢期の若者が地区を離れる傾向が増え、ますます少子化が加速いたしました。

令和 4 年度は新型コロナウイルス感染防止のため、当地区の柱となる行事が中止となってしまいましたが、その分子ども育成事業を強化し、バルーンアート教室やクリスマス会など工夫をこらした交流の場を持ちました。今年度におきましても、少子化の中でも親子、そして地域の方々との触れ合いを通して、青少年が健全に成長出来るように活動していきたいと考えております。



♪ ふるさと 上山 ♪

作詞 鏡 友晴
作曲 片桐 賢士郎

緑かがやく 自然の中で わたしが育った 上山
蔵王の山を 見上げつつ 大きくなろう たくましく
僕らも行け行け まっすぐと

いで湯あふれる お城の町で わたしが育った 上山
茂吉の心 学びつつ 友情の花 咲かそうよ
みんなと行け行け まっすぐと